

6月定例議会  
論戦スタート

# 暮らしと平和の要求を届けます

8日から始まりました定例議会は、16日に議案の質疑・一般質問が行われ、本格的な論戦がスタートしました。日本共産党野洲市議団(小菅六雄・野並享子市議)は、議案質疑や一般質問で、暮らしの要求実現へがんばります。主な一般質問の項目は、以下の通りです。



## 小菅六雄 市議

共産党野洲市議団の  
一般質問の内容です

### 野洲病院小児科日曜診療の存続

滋賀医大が小児科医師の派遣中止を表明しているため、野洲病院の小児科日曜診療が廃止されかねない事態です。市民のための地域医療に重要な役割を果たしている日曜診療です。市としての存続の取り組みを求めます。

### 教育基本法を守ろう

自民党や民主党が教育基本法を改悪し、日本が戦争できる国にするため教育基本法を改悪しようとしています。平和と民主主義、民主教育を守る立場から、市長や教育長に見解を求めます。

### 交通安全対策へ、危険踏み切りの拡幅

子どもの通学路となっている、JR西日本の踏切(新踏切、柿ノ木原踏切)は鉄道敷に歩道がなく危険です。歩道の拡幅など安全対策を求めます。

### イオンの営業について

市民への約束に反し、イオンは「24時間営業」を申請しています。地元商業と住環境、子どもの環境を守る立場から、イオン問題を質問します。

野洲病院の小児科日曜診療は野洲市の地域医療の拠点です。みなさんと力を合わせて、日曜日の診療存続へがんばります。



## 野並享子 市議

### 三共製薬の土壌・地下水汚染対策

市民の命と健康に係わる重要な問題です。エンドリンを含む汚染実態の現状と対策、地下水保全条例の制定を求めます。

### 中学校卒業までの医療費無料化の実施を

日本共産党は市民のみなさんとともに、医療費無料化の拡大を求めてきました。市長は3月議会で「入院について中学卒業までの無料を研究する」と答弁しました。市民みなさんの願いである、通院の無料化実現を要求します。

### 三人目の保育料の無料化を

「子どもは3人は欲しい」という願いがあるにもかかわらず、少子化に歯止めがかかりません。子育て支援のためにも、三人目の保育料の無料化を求めます。

### 障害者自立支援について

自立支援法の欠陥をどのように補うのか見解を求めます。

出生率が、1.25%と史上最低を更に更新しました。基本的には国の責任ですが、地方自治体としても子育て支援が必要です。

教育基本法まもれ  
子どもの安全へ  
三共製薬の農薬による危険な地下水  
医療費無料化は中学校卒業(通院)実施を  
子ども安全へ  
野洲病院の小児科日曜診療存続  
危険な踏み切り  
拡幅  
イオンの営業時間制限を  
3人目の保育料無料化

やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2006年6月18日 86

暮らしのご相談、ご要望  
お寄せください

市会議員 小菅六雄 (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184  
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~kosuga/

市会議員 野並享子 (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102  
(メール) s\_k\_nonami@yahoo.co.jp (HP) http://www.yasusigi.net/~nonami/